

2012 年度 小委員会活動成果報告

(2013 年 2 月 18 日作成)

小委員会名	スマート建築モニタリング小委員会	主 査 名：倉田 成人 就任年月：2011 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	情報システム技術委員会	委員長名：加賀有律子
設 置 期 間	2011 年 4 月 ～ 2013 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>設置目的：本小委員会では、建築構造物の計画、設計、施工、運用、維持管理等の各段階で、建築をモニタリングする情報システムに関して、最新の情報通信技術、センシング技術の動向をふまえ、構造、計画、環境の領域横断で整理し、かつ研究、実務分野それぞれの視点から、新たな価値を整理することを目的とする。</p> <p>【各年度活動計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2011 年度 最新の情報通信／センシング技術に関する調査研究・見学会の実施 構造、計画、環境横断の建築モニタリングによる新しい価値の検討 第34回情報・システム・利用・技術シンポジウムでの研究集会の実施 ・ 2012 年度 最新の情報通信／センシング技術に関する調査研究・見学会の実施 構造、計画、環境横断の建築モニタリングによる新しい価値の検討 第35回情報・システム・利用・技術シンポジウムでの研究集会、OSの実施 センサを自作するワークショップの実施 	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>主査：倉田成人 (鹿島建設) 幹事：山邊友一郎 (神戸大学) 委員：遠田敦 (早稲田大学)、白石理人 (清水建設)、新宮清志 (日本大学)、杉本照彦 (竹中工務店)、谷明勲 (神戸大学)、長尾嘉満 (早稲田大学)、中川純 (レビ設計室)、西本賢二 (東京大学)、濱野明日香 (ロッテ)、林田和人 (早稲田大学)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)		
2012 年度予算	120,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画	<p>1. スマート建築モニタリングワークショップ「Arduinoを使ったセンサモジュール作成」 参加者数 28 名</p> <p>2. 第 35 回情報・システム・利用・技術シンポジウム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小委員会企画研究集会②「建築と人間情報センシング技術」 参加者数 15 名 ・ 小委員会企画OS「震災復興・復旧における情報のあり方とモニタリング技術」 参加者数 23 名 <p>『第35回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集』所収</p>
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	

<p>目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<p>目標達成度：80%</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 小委員会は、本年度は4回開催(第1回：2012/04/25、第2回：2012/05/21、第3回：2012/08/28、第4回：2013/03/13)。 2. 構造、計画、環境の領域横断で実現する建築モニタリングに関するディスカッションを実施。 3. 第35回情報・システム・利用・技術シンポジウムにて研究集会、OSを実施(2012/12/13～14)。 4. センサを自作するワークショップを実施(2012/12/06)。
<p>委員会活動の問題点・課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 最新の情報通信／センシング技術の動向に関して、見学会の開催を検討したが、本年度は実施できていない。 2. 構造、計画、環境横断の建築モニタリングによる新しい価値については、引き続き検討する必要がある。
<p>その他</p>	